

村岡町



● 村岡山城

勝山市 エコミュージアム ニュース

福井市



● 一乗谷城跡

野向町



● 野津又城

荒土町



● 壇ヶ城

鹿谷町



● 西光寺(保田)城

遅羽町



● 三室山城

2023

わけあって「勝山」になりました

テーマに沿ったジオツアーを企画する中で、各地区を結ぶテーマは何か。山城は、各地区にほぼあり、地区の方が登山道整備などに関わっていて話を聞くこともできる。テーマは「山城」に決まりました。市の地名の起こりとなったと伝わる村岡山城の事は知っていてもそれ以外の事は知らない方が多かったので、まず、村岡山を中心に勝山市全体の山城について学ぶことにしました。



1-1 遅羽町住民協議会

カタクリまつりとバンビラインハイキング

4月9日に『カタクリまつりとバンビラインハイキング』を開催しました。美しい紫色のカタクリの花の群生と、バンビラインならではの植物を紹介する自然観察会も行い、展望台からの眺めに参加者は感嘆の声をあげていました。

1-2 まちづくり・むろこの会

村岡山からの眺望の確保

眺望を確保するために雑木の伐採等を行いました。山頂周辺の斜面は想像を絶するほどの急こう配で伐採作業は難航しましたが、「主郭」からは恐竜博物館方面の、「郭8」からは福井方面の眺望が大きく開けました。

1-3 壇ヶ城会

景観確保のための雑木伐採

今年度の荒土町社協の学習会時に、壇ヶ城跡からの見晴らしが無いので、一向一揆の戦に関する説明が理解しづらいとの意見があり、景観確保のため壇ヶ城跡から見通せるよう、視界を遮っていた雑木を伐採し、一向一揆の戦を想像できるようにしました。来年度以降も社協の歴史学習サロンの会場として、また、地質の理解を深める場として、壇ヶ城及び銀山跡、石灰岩による地下水脈と湧水等の活用を予定しています。

今後も区民による草刈り、登山道の補修、区民による語り部の育成などの維持・管理活動を進めます。



2-1 荒土町ふるさとづくり推進協議会

炭焼き

窯の傷み、原木の調達、熊の出没などで、今年は1回しかできませんでした。ただ、本年も荒土小学校4年生の皆さんには原木割りから炭出しまで体験できた事は良かったと思います。元気いっぱいの声が山肌に響いていました。



2-2 猪野瀬まちづくり委員会

猪野瀬健康ウォーク

9/30（土）猪野瀬こうみん館を発着点として三室遺跡散策にでかけました。遺跡では、ガイドの方から遺跡発掘のいわれを聞き、頂上で平泉寺と村岡山との戦いと歴史の世界に浸りました。三室山は知っていても、大野側の大きな岩※の事は知らなかったので価値あるウォークとなりました。

※「顔面岩」（計ったわけではありませんが、10m×5mはありそうです。）

2-3 いのせボートくらぶ

産業フェアに参加して

今回も野菜中心に、サツマイモ・洗い子・生落花生・花などを販売しました。会員が丹精込めた野菜が10品目ほど並び、商品説明の声掛け、手に取られたお客様への笑顔の対応で、商品はほぼ完売しました。久々の出店で仲間同士、お客様等との会話にあっという間に時間が過ぎた一日でした。

2-4 谷はやし込み保存会

ほお葉会

ほお葉会は毎年5月最終日曜日に行っています。谷地区出身者約100名でむつみ会を発足し、その後はやし込み保存会が受け継ぎ現在に至っています。5月20日から28日の週末に保存会で山菜を収穫し、当日は、ほお葉会だけでなく道の駅「よろっさ」にほお葉飯、山菜を出荷しました。今回は、谷区民会員だけで行いました。

2-5 むろこ女性の会

むろこジオcafé 100回記念事業

平成28年1月より始めた「むろこジオcafé」が12月に100回目を迎え、記念講演と振り返りを実施しました。防災活動やジオ学習、ジオ巡りなどいろんな方向から学習をし、楽しみながらすすめ、ジオに興味・関心が深まりました。

2-6 NPO法人せいきコミュニティスポーツクラブ

スポーツでヒトとモノを動かす仕組みづくり

健康ノルディックウォーキング&和太鼓・タップダンス共演ライブを開催しました。勝山の景観環境の中、文化に親しみながらスポーツ体験することで域外交流振興効果をあげ、地域資産形成効果につながる仕組みづくりに取り組んでいます。



2-7 本家勝山小笠原の会

殿さま祭り

8月13日（日）開善寺で「殿さま祭り」を開催しました。竹を縦半分に切り、流しそうめんをみんなで食べました。境内は延べ500人程の人々が集い、語り、楽しみ、旧盆の日曜日を満喫してくださいました。

2-8 勝山市ジオパークガイドの会

村岡山に登ろう ～スノーシューをはいて～

2月4日にスノーシューをはいて雪の村岡山に登りました。今年は、雪が少なく開催できるか心配されましたが、楽しく実施できました。頂上でのクイズでは勝山のことなどを学び、おやきを食べ、コーヒー、ココアで心も身体もポカポカになりました。

ジオパーク工作会

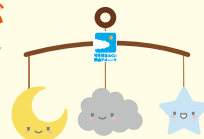
令和5年8月14日(月)



勝山中央公園・教育会館ホールで勝山地区夏まつりが開催されました。大人も子どもも楽しめるジオパーク体験ブースを出店しました。

会 場：勝山教育会館ロビー 時間：10:00から16:00
参加者：24名（保護者含めて50名）

8月14日勝山夏祭りとの共催でジオパーク工作会に参加してきました。その中でエコミュージアム協議会が担当となったマップ仕上げと万華鏡作りとモビール作りをやってみました。モビール作りのバランスをとるのが一番難しかったです。参加者の中でも親子で参加された方はそんなふうに見えました。時間の関係でマップ仕上げを最後まで出来なかったのが残念でした。3種類の工作をして100円は格安で、とても有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。こんな機会があったらまた参加してみようと思います。



部会活動



食の部会 令和5年6月22日(木)

インドカレー料理教室

スパイシーなインドのカレー。皆で段取りしてワイワイガヤガヤ楽しく作り、皆で揃っていただきます。辛いけどうまい。びっくりしたのは、里芋の塩ゆでを唐辛子のトッピングで食べた事。土地が変われば、食べ方も変わることを知り、楽しい一日となりました。

部会長 田中 秀 則



自然環境部会・むろこ女性の会

令和5年10月16日(月)

赤とんぼの卵採取

今回は一般市民の参加者がなく、残念に思いました。小学生や園児が参加した様子では、小学生が赤とんぼに触れるのが初めての子がいて驚きました。幼稚園児は保護者と共に楽しみ、夢中で走り回る親子の触れ合いが微笑ましく嬉しかったです。

むろこ女性の会

その他

日本ジオパーク再認定に思う

勝山市エコミュージアム協議会
会長 西山 和彦氏

令和5年10月に行われたジオパーク再認定は、4年に一度の勝山市のまちづくり免許証の更新の様なものです。エコ・ジオパーク推進係、ジオパーク推進協議会、各団体の方々のこの4年間の活動が、一定の評価はされていましたが、残念ながら2年間の条件付き再認定となりました。まだ、審査の詳しい情報が入っていませんが、恐竜博物館との協力体制の進み方が一つの理由となったようです。関係者の目から見ると10年前の条件付き再認定の時と比べて県との連携は格段に進んでいると思うのですが残念です。しかしながら、私達の活動には何ら変わりがなく、今まで通り「まち」を少しでも楽しい「まち」にしていける事が大切だと思います。

一乗谷朝倉氏遺跡 見学ツアー

令和5年7月5日(水)



一乗谷朝倉氏遺跡博物館へ行ってきました。
バスの中で笠松氏から平泉寺と「石がたり」でつながる一乗谷の説明を受け、現地ガイドにバトンタッチして博物館、復原街並み、西山西光寺跡を回りました。



博物館が「仆」
安田 亨氏

(一社) 朝倉氏遺跡保存協会
岸田 清氏



参加者の声

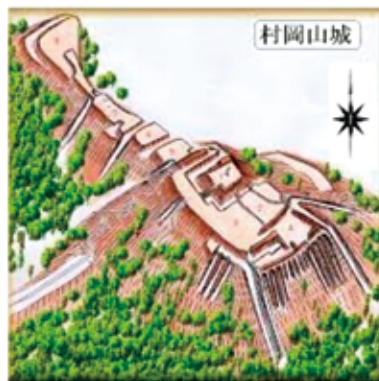
新設された一乗谷朝倉氏遺跡博物館では、朝倉城址の雅な邸宅が再現され戦国時代にタイムスリップ。周辺の遺跡巡りでは壮大なスケールに目を見張るばかり。そして地元愛の深さを感じる「ベテランガイド」の熱い語り。有意義な研修に感謝でした。



観光が「仆」ボランティアクラブ
笠松誠一氏

一乗谷朝倉氏遺跡見学のあと、同遺跡保存協会の岸田会長様より、まちづくりやまちおこしに関する講演を聞くことが出来ました。その中でいくつかの要点、ポイントの説明をされました。私が痛切に感じた事を3点にしぼると、1点目は「行政は何もやってくれない」ではなくて、自分たちが行動を起こしていない、汗をかいていないことだということ。2点目は近隣の自治体、近隣の観光地と連携すること。これはエコミュージアム協議会でも課題に上がることですが、各地区にとどまらず、要は点から線に繋げていくことだと思いました。3点目はどんなことでも報道関係に必ず情報を入れること。取り上げる上げないは相手次第であるということ。裏を返せば常に発信しなさいということだと思いました。その他にも具体例をあげられての説明が沢山あり、これからの協議会のあり方にとっても参考になることだと感じました。お忙しい中、貴重なお話を大変ありがとうございました。

藤井 由紀夫



わけあって「勝山」になりました



平泉寺は、天正2年(1574)、一向一揆の戦いに敗れ全山焼亡しました。市内には村岡山城、壇ヶ城、西光寺城といった、一揆方の城跡が残されています。天正3年には、柴田勝家が越前に入り、一向一揆の鎮圧を進めます。勝山地域には、柴田義宣が入り、村岡山城を改築しました。また、野津又城や谷城には一向一揆勢が立てこもり抵抗を続けました。戦国時代に一揆勢が戦っていた山城に行ってみませんか。

第1弾「お山とお城の物語」

村岡山城

日時: 令和5年10月3日(火)

場所: 勝山市交流センター2階ホール

講師: 勝山市商工文化課学芸員

松村英之氏・町 澄秋氏

参加者の声

勝山市内にこれ程沢山の山城の遺跡があるのには驚いた。

歴史と大地の成り立ちから「勝山」につながる講演は興味深かった。

第2弾「越前」一向一揆最後の戦い

野津又城跡

日時: 令和6年1月22日(月)

場所: 勝山市交流センター2階ホール

講師: 勝山市商工文化課学芸員

松村英之氏

第13回 日本ジオパーク全国大会 in 関東大会 参加報告

【テーマ】 関東ブロックのジオパークとジオパークを目指す地域が共同でジオパーク活動の意義を広く伝え、ジオパークブランドの向上に貢献すると共に情報交換、意見交換の場を作り、ジオパークの発展につなげる

日程 令和5年10月27日(金)～29日(日)

会場【中央会場】銚子ジオパーク(千葉県銚子市)

【サテライト会場】ジオパーク秩父(埼玉県秩父市)

基調講演

「チバニアン」と地質遺産

講師：岡田 誠氏
(茨城大学理学部長／(一社)日本地質学会会長)

千葉県市原市にある地層は、一番新しい地磁気逆転の記録が世界で最もよく残っており、令和2年、時代を分ける境界がわかる地層として世界に認められた。それまで名前が無かった約77万4千年前から12万9千年前までの時代をラテン語で「千葉の時代」を意味する「チバニアン」と呼ばれることになる。日本の地名が地質年代につけられることは初の快挙(なお銚子市高田川流域に市原とつながる地層あり)。1977年以降認定作業が続けられてきた努力の結実。

基調提言

「ジオパークは誰のためのもの?」

コーディネーター：齊藤清一氏
(観光地域づくり法人／(一社)糸魚川市観光協会事務局長)

大会目的である「ジオパークの意義を広く伝えたい」のトップランナーとして活躍されてきたJGN事務局長時代を振り返りつつ、現在、糸魚川観光協会事務局長として「ジオパーク」の活用の展望等についての提言。世界ジオパークの糸魚川であっても、観光・商工業者等を中心にジオパークへの取り組みが振興やまちづくりに本当に効果的に活かされているのかという疑問の声もある。保護と活用のバランスを考え、ヒスイを含む鉱物の展示即売会を後援する決断に至る。

プレジオツアー

江戸時代からジオパーク! 銚子磯巡りツアー

関東以北の人々に伊勢参りに次ぐ人気のあった東国三社巡り(香取神宮、鹿島神宮、息栖神社)のオプションツアーに参加しました。



犬吠埼白亜紀浅海体積物1億3千年前



勝山市観光ガイドボランティアクラブ
笠松誠一氏



チバニアン地層(市原市養老川流域)

分科会報告

ガイド研修会

コーディネーター：福島大輔氏
(日本ジオツーリズム協会／桜島ミュージアム)

うまくいくインタープリテーションは、強力なテーマを持ち、内容に簡単についていくことができ、聞いている人にとって重要であり、理解するのが楽しいという要素が揃っている。

TORÉの基礎を学び、ジオオンラインの担当者から経験談を聞くことで、自分のガイドにも活用していこうと改めて思った。ガイドを数多くやっている方々からは、ジオに対する知識・温度差がある観光客を今回、手本と紹介されたジオツアー(やや演出過剰?)では押しつけがましくかえって共感を得られないのではないかと疑問・反発の声もあった。

分科会報告

つながりを取り戻す ―フェノロジーカレンダーで地域風土を再発見

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会 事務局 原 章子氏

コーディネーター：大岩根 尚氏(株式会社 musuhi)

秩父会場は秩父宮記念市民会館を大会サテライト会場として開催されました。会場では5つの分科会が開催され、そのうちの一つに参加しました。フェノロジーカレンダーとは、地域の動植物、祭礼行事、食の旬などの一年間の移り変わりを一目で分かるようにした生活季節暦です。このカレンダーは地域独自の風土や特色について話し合いながら作ることができ、作る過程において地域の季節・気候と生き物の関わりについて理解するのに役立ちます。分科会ではカレンダー作成の説明を聞き、また実物のカレンダーを配布いただきました。今後、フェノロジーカレンダー勝山版作成に挑戦してみたいかでしょうか。

